

エコニュース さって



第 34 号

平成 22 年 9 月 27 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

第 56 回腐葉土づくりの会

平成 22 年度総会開催される！ 平成 21 年度作製の全腐
葉土が頒布される！ サツマイモがスクスク生長！



1. 6 月 27 日（日）平成 22 年度総会が、22 名の出席のもとで開催
されました。

冒頭、会長から現在の世界の食料事情の話があり、輸入に頼る日本は食料自給率を考
える時、飽食のように見えるが、実際は途上国の今後の人口増と各国の食料自給率を考
えると、日本への食料供給が近い将来心配であり、自分で栽培し食料を確保する施策も
必要であり、当会活動は小さな活動だが意義深いとの挨拶があった。

会長が議長となって議事運営がなされ、事務局長から、平成 21 年度活動報告があつた
後、事務局次長・会計係から決算（案）の報告があり、監事の監査の結果、適正に処理
されているとの報告があつて、承認された。

その後、事務局長から既に進んでいるが平成 22 年度活動計画（案）の報告があり、会
員から、毎年、新会員が入会するので、例えば落ち葉集めの時に枝が入らないようにす
るなどの、腐葉土のつくり方の留意点を指導するようにとの指摘があり、今後、対応す
ることになった。また、平成 22 年度予算（案）について事務局次長・会計係から報告が
あり、承認された。

また、規約の一部改正があり、役員として新幹事の任命と会計係の個人的な都合から、
退任が承認され、後任の指名は会長と事務局に一任された。

さらに、平成 21 年度の入会員を中心に感想が述べられ、作物・野菜の栽培に土壌が非
常に大切であり、腐葉土（堆肥）の役割は大きいとのことであった。

以上で、平成 22 年度総会が成功裏に終了した。

2. 総会終了後、2 グループに分かれて、1) 環境課からの指示で、桜泉園の粗大ごみ等
の倉庫の建屋の移転・拡張に伴う腐葉土床の移転対応の杭抜きして更地にするともに
残った熟成腐葉土の袋詰めするグループと、2) 時間の許す範囲で、今年は順調に生長
しているサツマイモを確認しながら畑の草取りグループで作業を行った。

作業終了後、袋詰めした熟成腐葉土は畑へ撒く用途と幸手市民健康福祉祭り用途を残し
て会員に頒布された。

なお、早く生長したジャガイモが収穫の時期にきており、総会に出席した各位に都合を
尋ねたところ、梅雨時の天気都合もあるが、7 月 3 日（土）に（4 日（日）は行幸湖のクリ
ーン作戦）賛同した人が多かったので当日 1 回目の行うことになった。そして、7 月 18 日
（日）に 2 回目のジャガイモ収穫と奥マメ植えを行うことになった。

至急、奥マメ撒きを野澤相談役にお願ひし、地主に 7 月 4 日（日）～17 日（土）の間に
畑を耕作して貰うことになった。（澤村）

第 57 回腐葉土づくりの会

90%駄目だと思っていたジャガイモが意外に多く実り 2 回に分けて収穫ができました！ 奥マメも会員が自ら苗づくりをして植えました！

1. 7 月 3 日（土）9 時から、14 名の出席のもとで、天候の心配をしながら、予定通り、1 回目のジャガイモの収穫（葉が枯れ株や黄色くなった株を選んで）とサツマイモ畑の草取りを行いました。

初めに、会長から 7 月 11 日（日）のエコライフ DAY 参加の呼掛けの話があった後、事務局から作業手順の案内があり、ジャガイモ掘り（主体）とサツマイモ畑の草取りとに分かれて作業しました。梅雨の合間なので、土が少しぬかりぎみで泥んこになって、また曇ってはいましたが非常に蒸し暑く全員が汗をかきながら各自用意してきた飲みものと事務局が準備した水を取りながら作業を行いました。

4 月～5 月頃は、3 月の種イモを植え方が適切でなく、また雨が多かったため当初はジャガイモの 90%芽が出ず、また遅れて出たのも茎も細く、会員の皆さんに 5～6 個いきわたればよいと思っていました。しかし、全体に小さめでしたが意外に収穫が多く、一部の欠席者も含めて 10 L の袋に一杯ずつ頒布することができました。種イモ代は十分にペイできたと思います。

サツマイモ畑の雑草は梅雨中に繁茂しており、ジャガイモ掘りグループも終了後、参加し全ての雑草が取り終えました。

18 日（日）に第 2 回目のジャガイモ掘りと奥マメ植えを約束し散会しました。

なお、今までは野澤相談役に奥マメの苗づくりをして頂いていましたが、都合が悪く苗づくりができなくなってしまい、事務局から簡単な苗づくり要領を話し、有志にお願いしました。事務局から、地主にジャガイモ収穫後の畑を奥マメ植え用に耕作をお願いしました。

2. 7 月 18 日（日）急きょ早めて 8 時から、17 名が参集し、梅雨明けの炎天下で奥マメ植え、第 2 回目のジャガイモ掘り・収穫、サツマイモのつる返しと雑草取りを行いました。

最初に会長からエコライフ DAY 参加のお礼と集計用紙収集、忘れた方は後でも良いとの話があった後、事務局から 3 グループに分かれた作業案内とともに非常に暑いので熱中症にならないように水分（各自持参の飲み物、事務局が準備したスポーツドリンクとお茶）を早めにとるようにお願いして、30 分ごとに 5 分の休憩を取りながら作業を行いました。

奥マメの苗づくりに原田（武）さん、松本さん、村石さん、神田さん、配島さん、今泉さんの多数の方が挑戦してヒョロヒョロ伸びすぎ苗、しっかりした苗、小さな苗と色々な苗ができましたが、全てを植えました。それぞれがよい勉強したと思います。

奥マメ苗植え作業は、第 1 回目のジャガイモ収穫後に雑草が繁茂していて地主が耕した後に草が生き返っているその草を拾った後に畝づくりを行い、用水路から水をバケツに汲んで運び、まき、苗を約 30 cm 間隔に 2 本ずつ（少し離して）置き、双葉を残すようにしながら土を掛けていきました。植えた本数はよく分かりませんが 500 本位植えたと思います。秋の収穫が楽しみです。

第 2 回目のジャガイモ掘りは雑草が非常に繁茂していて草の中のイモ掘りでした。ただ、第 1 回目よりも全体的に大きなイモができていて 30 袋が袋一杯となり、出席者全員と一部の欠席者にも頒布できました。

サツマイモ畑の草取りとつる返しは女性が行いました。つる返し作業は経験者が多く慣れた手つきでできました。

梅雨明けのまだ身体が 30℃以上の暑さに慣れてない中での炎天下作業で、全員が汗をビッショリかいて本当にお疲れさまでした。（澤村）

第 58 回腐葉土づくりの会

猛暑の中、早朝、2 日間に分けて草取りとサツマイモのつる返しを行いました!! ただ、奥マメを植えた後、猛暑が続き 7 割が枯れてしまいました。残念ですが残ったマメを大事に育てたいと思います。



前回の 7 月 18 日（日）、8 時から炎天下で 6 人が初めて奥マメの苗づくりを挑戦して、ヒョロヒョロ伸びすぎ苗、しっかりした苗、小さな苗と色々な苗（早生苗も含まれていました。）を植えましたが、当日は水をタップリあげて植えたのですが、植えた日から猛暑が続き、7 割が枯れてしまいました。普通、奥マメは梅雨時植えるのですが、今回は、ジャガイモの収穫が遅れて植え時が遅れたことと、梅雨明けが早かったことから、水不足となっていました。本来は、翌日、早朝にも水をあげるべきところだったのですが、事務局、仕事都合でうっかりして 2 日後の夕方に水をあげることになってしまい、遅かったようで大変残念です。その後、数日間に亘って夕方、水をあげたのですが回復するのは少なかったようでした。根に土を付けたしっかりした苗はほとんどが生きつきましたが、他はまばらに残りました。

1. 8 月 8 日（日）、8 時から 30℃を越す蒸し暑い中、急な連絡にもかかわらず、14 名が参集してくれました。マメ畑の草取りとジャガイモ収穫後の雑草が繁茂していた畑を地主が耕してくれたのでその草拾いを行いました。さらに、サツマイモのつる返しを行いました。全員が帽子をかぶっていましたが、汗をびっしょりかき、シャツが汗で濡れてしみ、額から汗が滴れ落ち目に汗が入って痛いとか言いながら各自、持参した飲料、事務局が用意したスポーツドリンクを飲みながら頑張りました。1 時間程度の作業でしたが本当にお疲れさまでした。

2. 8 月 22 日（日）、今回も 8 時から炎天下 30℃を越す蒸し暑い中、12 名が参集してくれ、汗をビッショリかき、飲料を取りながら作業を行いました。2 週間前に草をとり、14 日夕方に事務局がたちカマで小さな草をとったのですが、もう草が生えていました。ただ、今回は全体的に少なく、30 分程で草取りは終わりました。その後、サツマイモのつる返しを行いました。昨年度は、1 回つる返しを行い、2 回目は伸びすぎたつるを切り詰め作業を行いました。今年度は、つる返しの数を増やしてつるの切り詰め作業は行わないことにしました。

次回、9 月 19 日（日）、桜泉園集合し、移動床の設置を約束し、8 時 40 分に散会しました。

なお、原田さんが奥マメの種を探してくれたのですが、ホームセンター等には在庫はなく、何とかマメの種（奥マメか？）を入手して播いて苗を育てて、お盆前に 100 本ほど植えてくれました。水もタップリやり、数日間、事務局で水をやって大半が生きつきました。

収穫が 2 回になりますが、残った奥マメと追加の 100 本あればかなりの収穫が楽しめると思います（澤村）。

参加者募集**いも掘り**（腐葉土つくりの会）

私たちのサツマイモ畑をみなさんに開放します。会員でなくても、イモ掘りに参加できます。もちろん、お土産にサツマイモをさしあげます。

日時： 10月10日(日) 9時から 雨天の場合、10月11日(月)

場所： ひばいヶ丘桜泉園近くの畑

定 員 30名（申込み先着順）

参加費 300円（保険料を含む）

申込先 42-8412 本田

浮きウキフェスタ22（浮島つくり）

埼玉県主催の「川の再生」事業のイベントです。浮島（いかだ）つくりも行います。

こどもも大人も一緒に参加できます。（要申込）

日時： 平成22年10月24日(日) 午前10時から

・時間 いかだ作り 10時～12時 進水 午後1時～午後3時

* 開始時刻までに受け付けを終わってください。

場所： 権現堂公園

参加費 無料

対象 小学生以上

申込先 43-2895 杉戸県土整備事務所 調節池管理所

42-8412 本田（さって市民環境ネット）

11月の予定

11月6日(土) 健康福祉まつり（ウェルスさって）

* 参加内容 さって市民環境ネットの活動紹介、映写会「地球は危ない」など

11月10日(水) 午後1時30分から（中央公民館）

* 第1回市民環境講座 「ごみの分別の始まり」

～ 江戸時代へのタイムスリップ、ごみ処理システムの巻 ～

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット（子育て支援ネットワーク）、いきがい・はなみずきの会

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土つくり、浮島つくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42-8412）まで。